

令和6年度 板橋区立志村第二中学校 授業改善推進プラン

教科名

数学

	学力調査・体力調査・定期考査等の分析	指導方法の課題	授業革新に向けての具体的な手立て
7 学 年	<p>・1学期の定期考査の結果を見ると、基本的な計算問題は正解率が高く概ねできているが、数学で使う言葉を覚えていない生徒が多く見られた。言葉を使って説明する問題も正解率が低い。</p>	<p>・計算の反復でやや複雑な計算問題であっても粘り強く解く力を身に付けさせる。 ・単元と単元の「つながり」や「ちがい」を理解させる。 ・答えを求めるだけではなく、その過程を重視して説明する力を身に付け、数学的帰納法で証明できるようにする必要がある。 ・課題解決型学習で自分の考えを簡潔にまとめる力を身に付けさせる。</p>	<p>・数学用語を繰り返し使って覚えさせる。 ・途中式を徹底させる。 ・家庭学習と授業を連動させる。 ・生徒が自分自身で解く時間を十分に取る。 ・単元の導入や課題学習を通して、数学の有用性を感じさせ、自分でそれを表現できるようにする。</p>
8 学 年	<p>・定期考査の結果を見ると、知識・技能の正解率が高く概ねできているが、数学的に課題を読み解く力が弱い生徒が多く見られた。文字式を使って説明や解決する問題を苦手にする生徒が多い。</p>	<p>・系統的な学習が課題である。 ・答えを求めることだけを求めるのではなく、その過程を重視し、説明する力を身につけ、数学的帰納法で証明できるようにする必要がある。 ・課題解決型学習を行っていく必要がある。</p>	<p>・生徒の習熟の程度に応じた学習を定着させる。ドリルパークを有効に使う。 ・立体を見る力を定期的に学習する機会を作り、多面的な立体の見方を養う。 ・単元の導入や課題学習を通して、数学の有用性を図る。</p>
9 学 年	<p>・全国学力・学習状況調査の結果を見ると、平均正答率（カッコ内の数字は全国平均正答率との差）は、 A数と式64.1%（+13.0） B図形46.1%（+5.8） C関数62.0%（+1.3） Dデータの活用66.7%（+11.2）とすべての分野で全国平均を上回っている。観点別</p>	<p>・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する能力や筋道を立てて考え、証明する能力の育成が課題である。そのため、答えを求めるだけでなく、その過程を重視し説明する力を育成する必要がある。</p>	<p>・単元の導入や課題解決型学習を通して、数学の有効性を図る。 ・生徒が自分自身で考え、解く時間を十分にとり、その考えを他に伝える時間を設ける。</p>

	や問題形式別においてもすべて8%前後全国より上回っている。		
--	-------------------------------	--	--